

1.パソコンの IP アドレスの確認方法

1-1

■WindowsXP/WindowsVista の場合

スタートメニューの「ファイル名を指定して実行」をクリックします。



■Windows7 の場合

スタートメニューの検索を表示します。



■Windows8 の場合

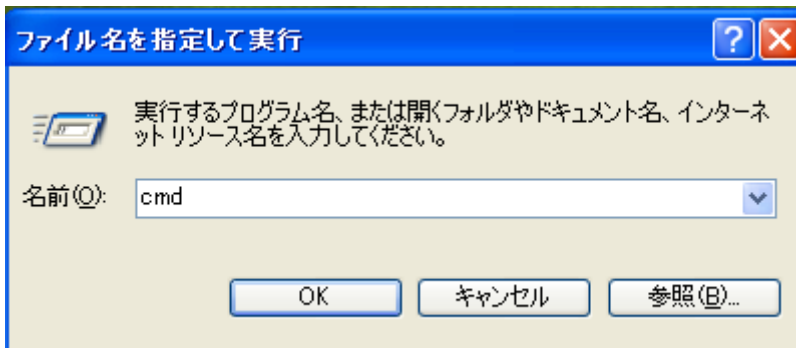
チャームから検索をクリックします。



1-2

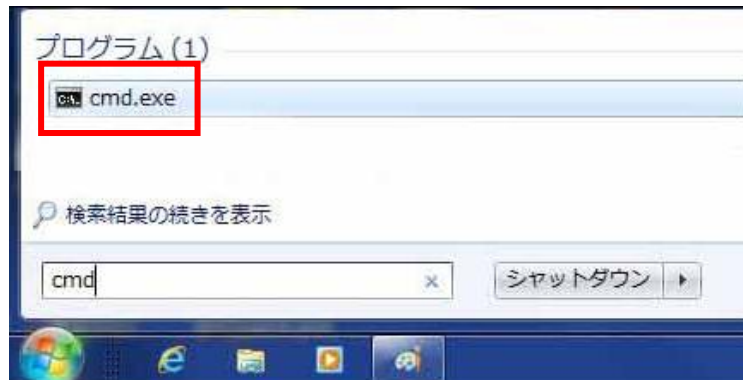
■WindowsXP/WindowsVista の場合

ファイル名を指定して実行画面が表示されるので、「cmd」と入力し「OK」をクリックします。



■Windows7 の場合

「cmd」と入力すると、検索結果として「cmd.exe」が表示されるので、「cmd.exe」をクリックします。



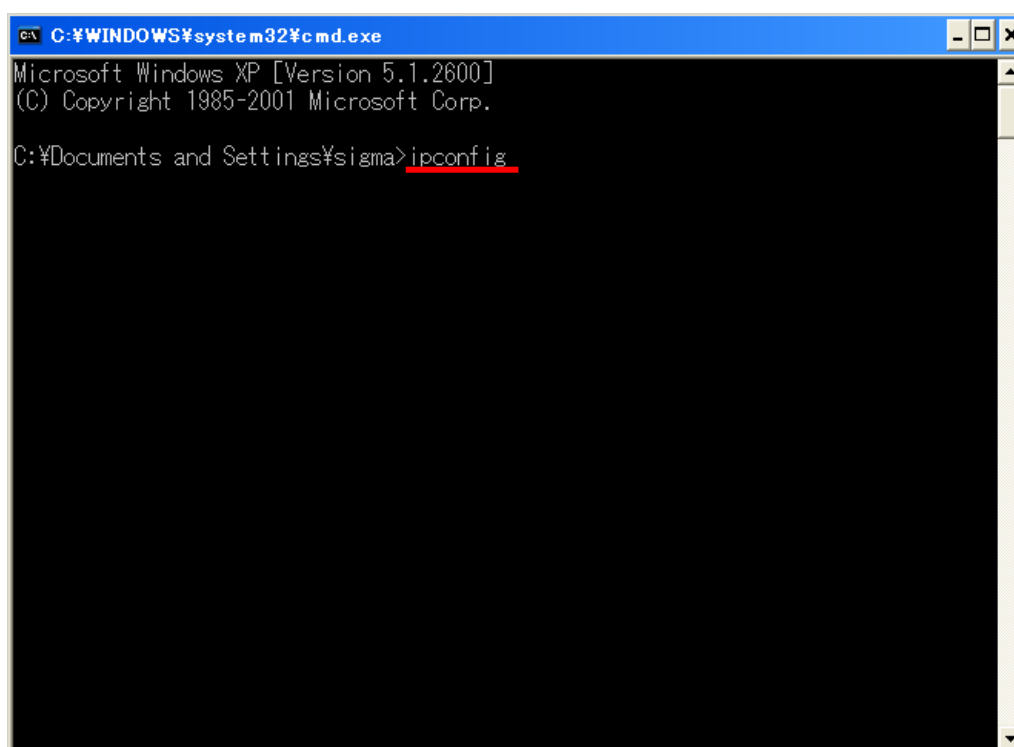
■Windows8 の場合

「cmd」と入力すると、検索結果として「コマンドプロンプト」が表示されるので、「コマンドプロンプト」をクリックします。



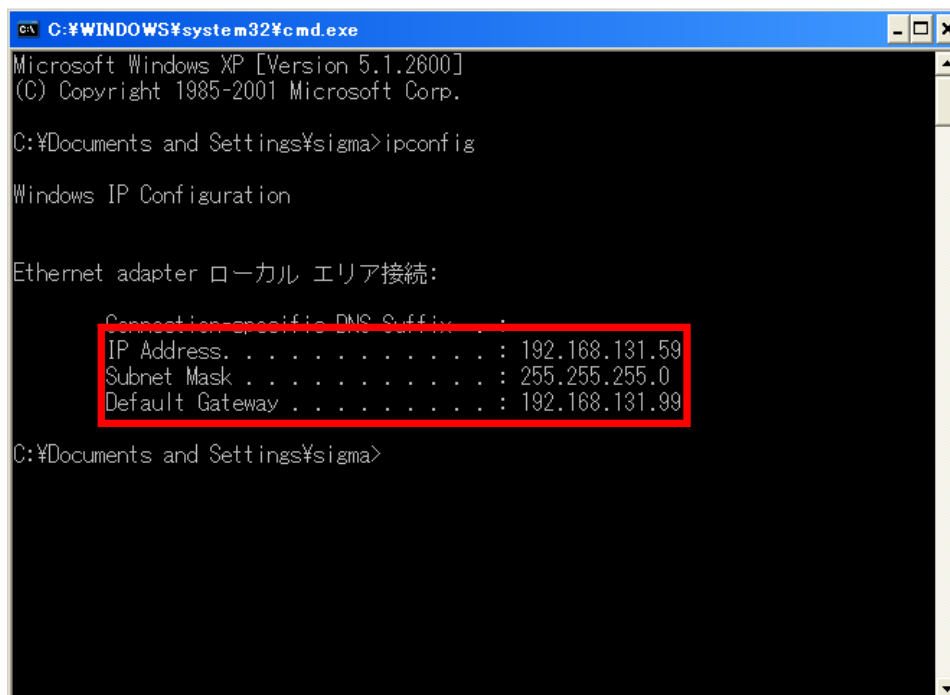
1-3

コマンドプロンプトが表示されるので、「ipconfig」と入力し Enter キーを押してください。



1-4

下図のように現在設定されている IP アドレス、サブネットマスク及びデフォルトゲートウェイが表示されます。



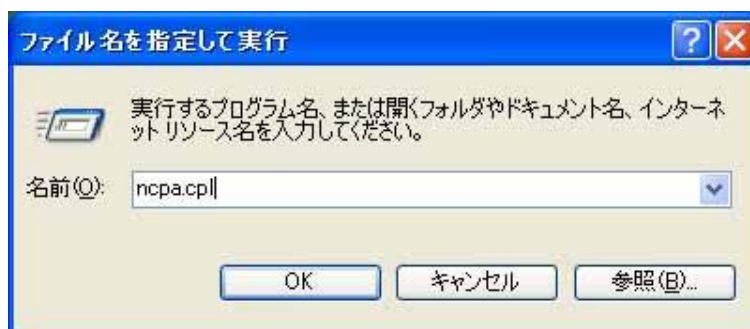
2.HIT-M の LAN 設定を変更する

HIT-M の LAN 設定を使用する環境に合わせて変更します。

2-1

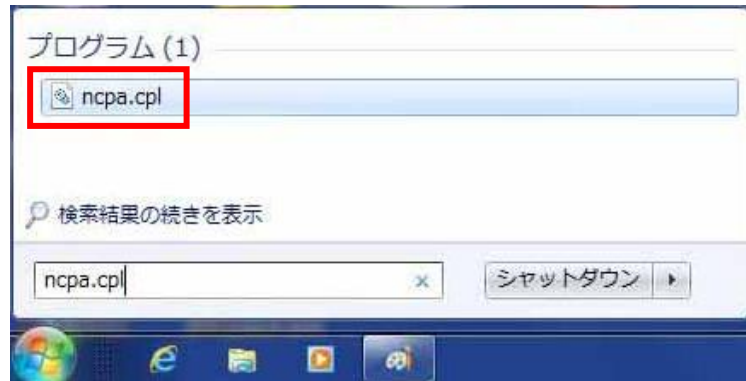
■WindowsXP/WindowsVista の場合

ファイル名を指定して実行画面(1-2 参照)にて、「ncpa.cpl」と入力し「OK」をクリックします。



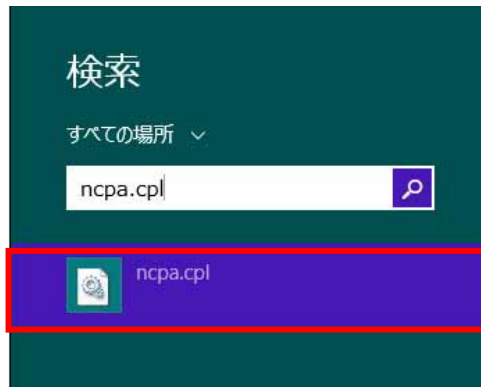
■Windows7 の場合

検索画面(1-2 参照)にて、「ncpa.cpl」と入力すると、検索結果として「ncpa.cpl」が表示されるので、「ncpa.cpl」をクリックします。



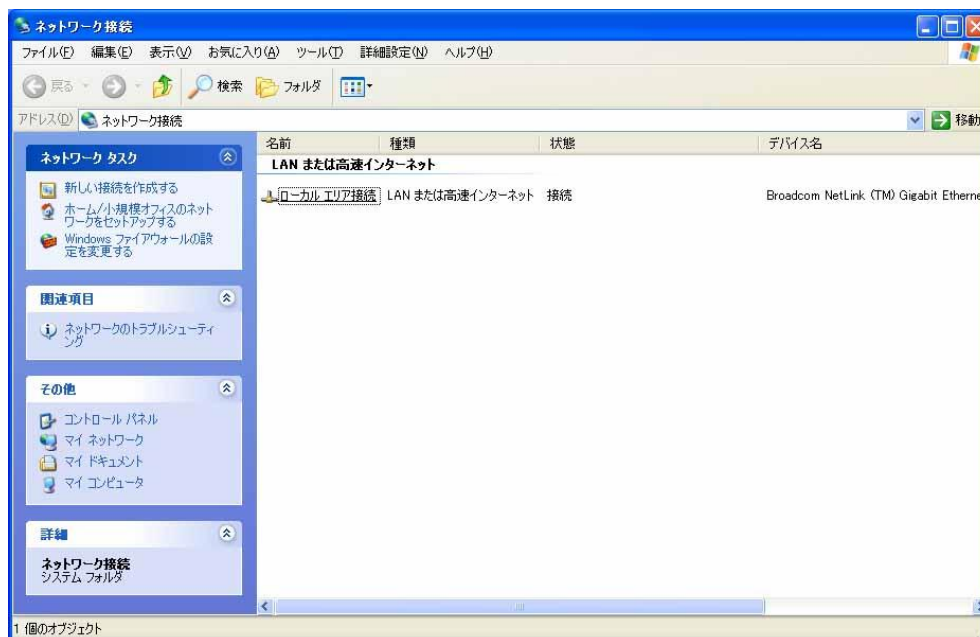
■Windows8 の場合

検索画面(1-2 参照)にて、「ncpa.cpl」と入力すると、検索結果として「ncpa.cpl」が表示されるので、「ncpa.cpl」をクリックします。



2-2

ネットワーク接続画面が表示されます。

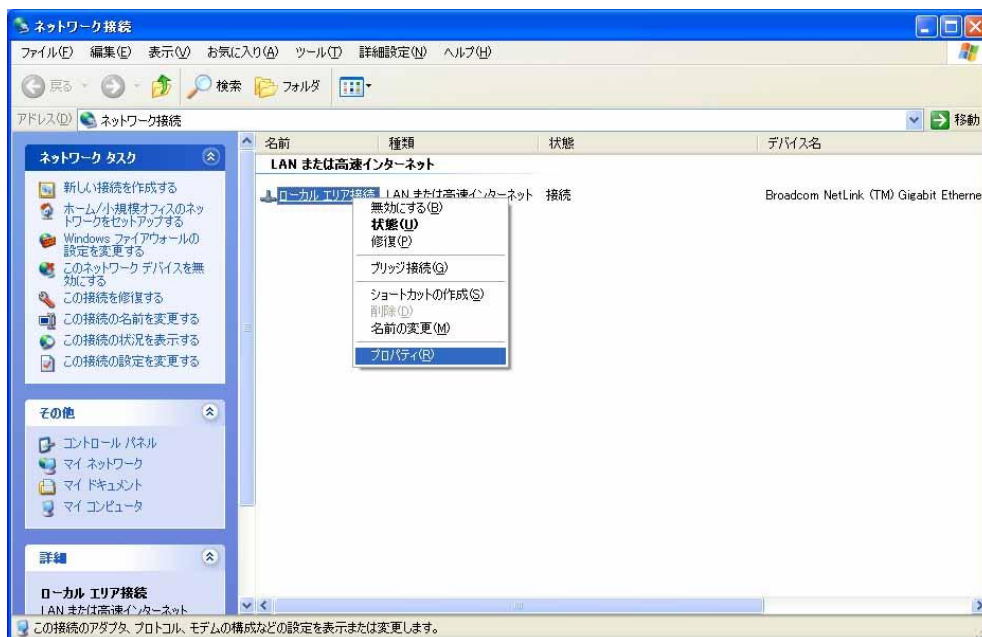


ネットワーク接続画面は、「スタートメニュー」>「コントロールパネル(クラシック表示)」>「ネットワーク接続」の順にクリックしても表示されます。

また、このときコントロールパネルがカテゴリ表示になっている場合は、「コントロールパネル」>「ネットワークとインターネット接続」>「ネットワーク接続」の順にクリックしていくと表示されます。

2-3

「ローカルエリア接続」のプロパティを表示します。



2-4

「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択し、「プロパティ」をクリックします。



2-5

インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ画面が表示されるので、「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れます。

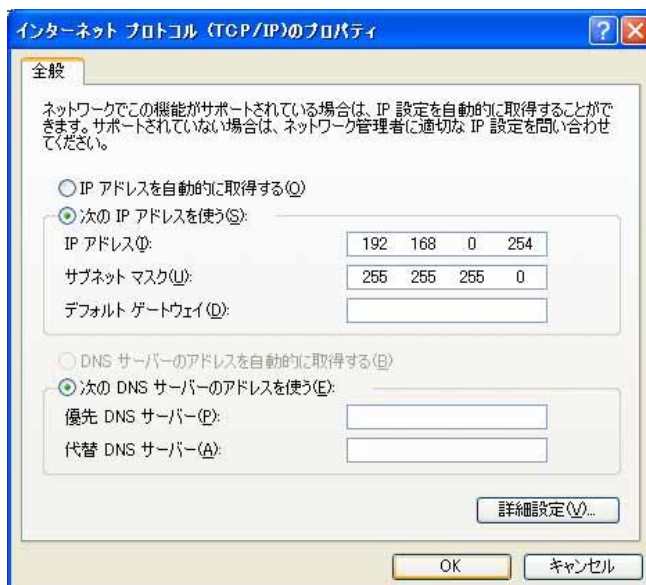
HIT-M の工場出荷時の LAN 設定は、

IP アドレス 192,168,0,1

サブネットマスク 255,255,255,0

となっておりますので、それに合わせて下図のようにパソコンの IP アドレス及びサブネットマスクを設定します。

「OK」をクリックして設定を終了してください。



※すでに、HIT-M の LAN 設定を変更されている場合は、その値に合わせてパソコンの設定を変更してください。

2-6

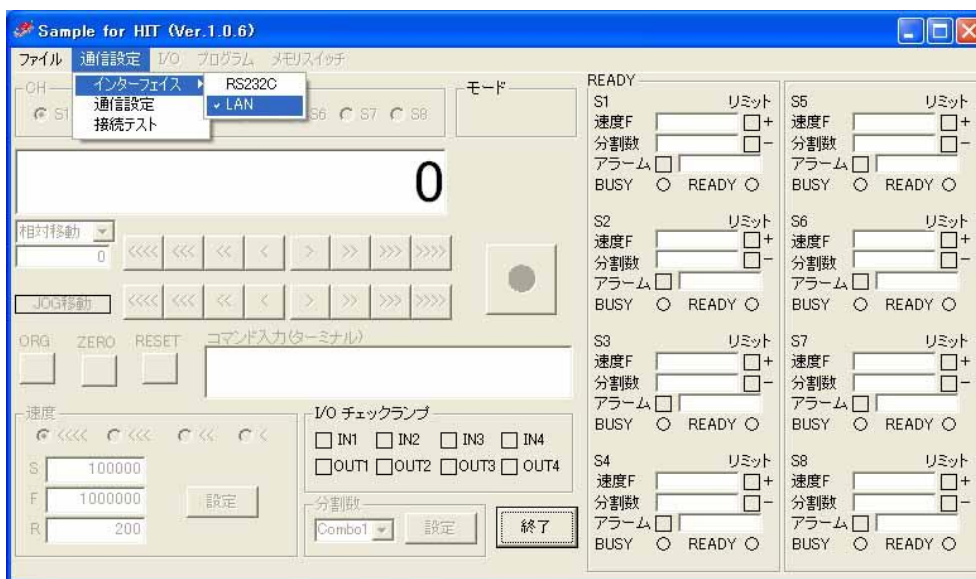
パソコンとHIT-Mを接続し、HIT-Mの電源を投入します。

パソコンとHIT-Mの接続にはLANクロスケーブルを使用してください。

HUBを経由してパソコンとHIT-Mを接続する場合は、LANストレートケーブルを使用して、HUBとHIT-Mを接続してください。

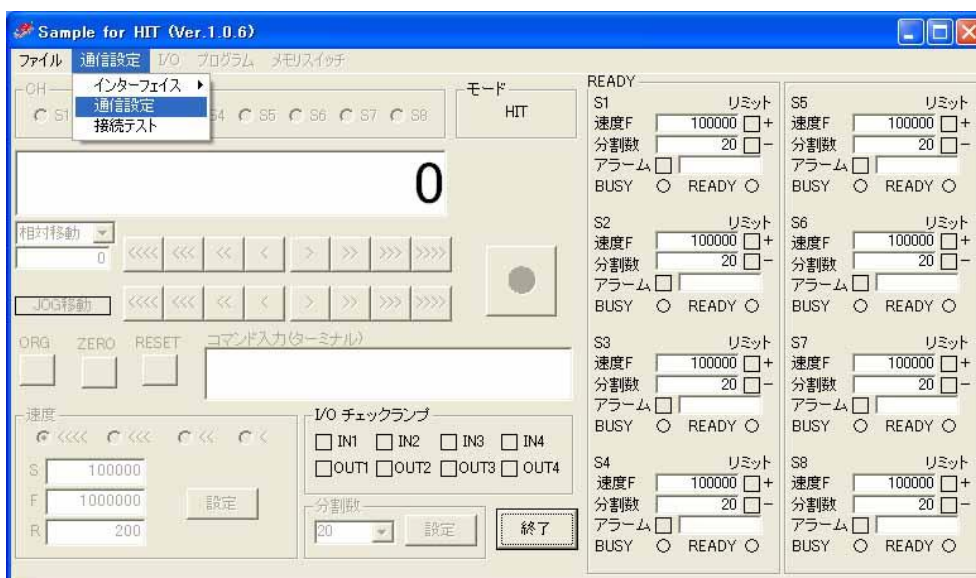
2-7

HIT Sampleを起動し、下図のように通信インターフェイスを「LAN」に設定します。



2-8

下図のように「通信設定」をクリックしてください。

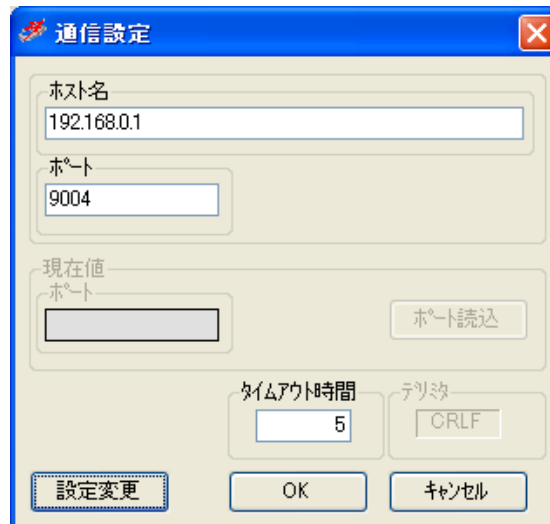


2-9

通信設定画面が表示されます。

ホスト名が、接続している HIT-M の現在の IP アドレスとなっていることを確認してください。

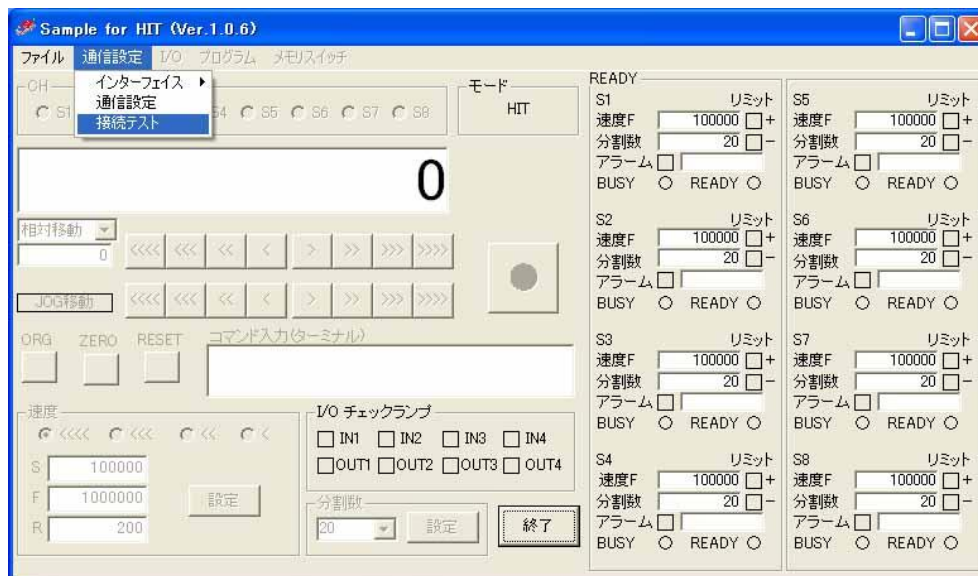
工場出荷時の HIT-M の場合、IP アドレスは 192.168.0.1 となっておりますので、そのまま「OK」をクリックし通信設定画面を閉じてください。



※すでに、HIT-M の LAN 設定を変更されている場合は、以前に変更した IP アドレスを入力し「OK」をクリックしてください。

2-10

下図のように、「通信テスト」をクリックしてください。



2-11

通信テスト画面が表示されるので、「テスト実施」をクリックします。



2-12

下図のように「OK」と表示されれば、次に進んでください。

もし、「NG」と表示された場合は、パソコンの IP アドレス及びサブネットマスクの設定をやり直し、再度通信テストを行ってください。



2-13

HIT-M の LAN 設定を変更するため、パソコンとの接続を一度切断します。

下図(a)のように「切断」をクリックすると、下図(b)のように「OFF」と表示され接続が切断されます。

接続が切断された後、「OK」をクリックして接続テストを終了してください。



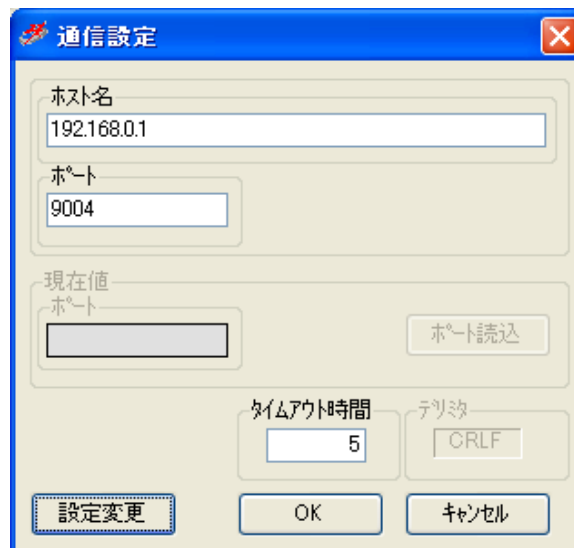
(a)

(b)

2-14

通信設定画面を表示します。(2-8 参照)

「設定変更」をクリックしてください。



2-15

LAN の設定変更画面が表示されます。

設定変更

IPアドレス	サブネットマスク
192.168.0.1	255.255.255.0
デフォルトルートゲートウェイ	ポート番号
0.0.0.0	9004

OK キャンセル

※新機種

LAN Detail Settings

IPアドレス	サブネットマスク
192.168.0.1	255.255.255.0
デフォルトルートゲートウェイ	ポート番号
0.0.0.0	9004

Passive Openを許可する相手側ホストのIPアドレス

1: 0.0.0.0	5: 0.0.0.0
2: 0.0.0.0	6: 0.0.0.0
3: 0.0.0.0	7: 0.0.0.0
4: 0.0.0.0	8: 0.0.0.0

OK Cancel

※旧機種

2-16

IP アドレス及びサブネットマスクを、実際に使用する環境に合わせて変更し「OK」をクリックしてください。

※「Passive Open を許可する相手側ホストの IP アドレス」欄では HIT-M との通信を許可する PC の IP アドレスを設定することができます。この欄にて設定した IP アドレス以外からの HIT-M への通信は受け付けません。(旧機種のみ)

設定変更

IPアドレス	サブネットマスク
192.168.131.2	255.255.255.0
デフォルトルートゲートウェイ	ポート番号
0.0.0.0	9004

OK キャンセル

※新機種

LAN Detail Settings

IPアドレス	サブネットマスク
192.168.131.2	255.255.255.0
デフォルトルートゲートウェイ	ポート番号
0.0.0.0	9004

Passive Openを許可する相手側ホストのIPアドレス

1: 0.0.0.0	5: 0.0.0.0
2: 0.0.0.0	6: 0.0.0.0
3: 0.0.0.0	7: 0.0.0.0
4: 0.0.0.0	8: 0.0.0.0

OK Cancel

※旧機種

今回は、HIT-M の IP アドレスを、接続する PC に合わせて 192.168.131.2 に変更します。

2-17

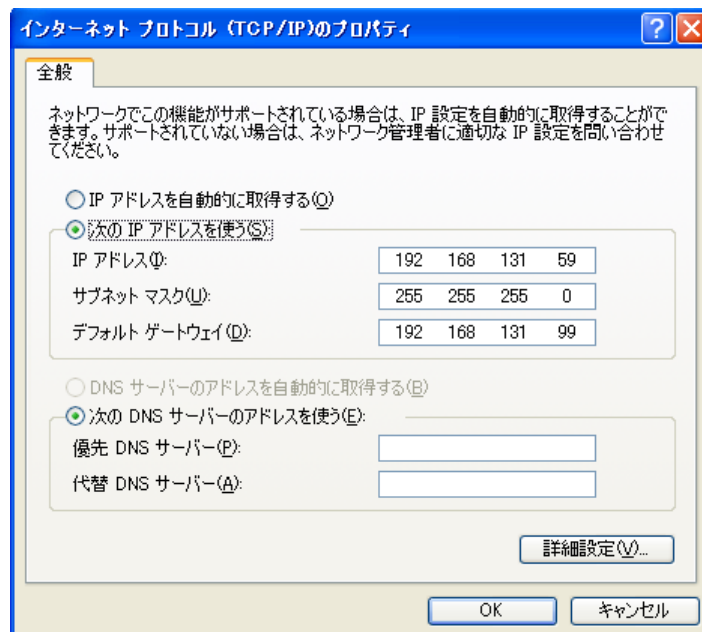
設定が完了すると、下図のようなメッセージが表示されますので「OK」をクリックし、HIT Sample を終了してください。



2-18

パソコンの IP アドレス及びサブネットマスクを、2-5 での変更を行なう前の値にします。

2-1~2-5 のようにして、パソコンの設定を変更してください。



2-19

HIT Sample を起動して通信テストを行い、OK と表示されれば LAN 設定変更完了です。(2-10~2-12 参照)

もし、NG と表示された場合は、パソコン及び HIT-M の設定に誤りがないか、また、ネットワーク上に同じ IP アドレスが存在していないかを確認し、再度通信テストを行ってください。